

No.	資料名	頁	提出者	意見・質問など	回答（東京電力ホールディングス株式会社）
1	第2回 資料5-1	p.7、8	田上専門委員	第2回労安部会で報告のあった、2020/8/18に発生した内部被ばく事象について、「どのくらい経過するとホールボディーカウンターで検出できなくなったのか（つまり生物学的半減期はどのくらいか）？」という質問に対して、「確認します」との回答でしたが、今回説明がありませんでしたので報告いただけないでしょうか。	ホールボディーカウンターでは約1週間後の2020/8/24に検出限界値未満となったことを確認しています。 また、生物学的半減期についても検出限界未満までの減少傾向をモンダル係数を使用し比較した結果、同等の値を示していることを確認しています。  ※同等の値とは、個人差や統計誤差によって想定される変動の範囲内の値。
2	第2回 資料5-1	p.7、8	田上専門委員	上記に関連し、これまでも内部被ばくする事象が複数発生しています。これらについても、生物学的半減期を導出できるならデータをお示しいただけないでしょうか？個人が特定されないようにご配慮いただければ幸いです。	上記の他に今年度発生した内部被ばく事象は2020/4/13に発生しておりますが、約2週間後の2020/4/21に検出限界値未満であることを確認しております。昨年度に発生した内部被ばく事象につきましては、2020/2/6に発生した事象では、約2週間後の2020/2/21に5分の1程度まで減少しています。 また、2020/2/18に発生した事象では約5か月後の2020/7/14に4分の1程度まで減少したことが確認されています。 また、生物学的半減期についても検出限界未満までの減少傾向をモンダル係数を使用し比較した結果、同等の値を示していることを確認しています。  ※同等の値とは、個人差や統計誤差によって想定される変動の範囲内の値。
3	資料2	p.2	田上専門委員	今回ご提示いただいたアンケート結果を見ると、「自分が被ばくしているのではないか？」という漠然とした不安を抱いている人が多いようです。科学的データを説明と共に上手く示すことが、理解醸成につながる場合もあると思いますので、きちんとデータは収集した方がいいと思います。	外部被ばくについては、日々の線量を電子式線量計で管理しており、退域の都度電子式線量計の線量をレシートにて通知しています。 内部被ばくについては、定期のWBC測定（男性は3か月毎、女性は毎月）を実施し、測定結果で内部取り込みがないことについて、その場で本人に通知しています。なお、2011.10月以降、有意な内部取り込みは認められておりません。
4	資料4-1	p.8	伊藤課長	「2020年度の15mSv/年超過者は113名、うち、34名は既に従事者登録解除済み」に関して、会議において「解除理由は当該工事が終了したため」との説明を受けた。ということは、15mSv/年超過の対策として、登録を解除したことにはならないので、資料の説明は不適切ではないか。6ページの外部被ばくの超過者に対する説明も同様である。	等価線量が15mSv/年を超過している者に対して、水晶体近傍（又は頭頸部）での等価線量の測定を行っております。15mSv/年の超過者を従事者解除するといった運用は行っており、等価線量を測定している15mSv/年超過者113名のうち、34名は既に工事が終了したため、従事者解除していることを示したのになります。6ページも同様に、外部被ばく線量75mSv超過者42名のうち、6名は既に工事が終了したため、従事者解除していることを示したのになります。 今後記載方法を工夫してまいります。